

二八三一番

みさご居ゐる 渚すに居ゐる舟ふねの 夕潮ゆふしほを 待まつらむよ
りは 我われこそまされ

二八三二番

山川やまがはに 笙うへを伏ふせて 守もりもあへず 年としの八やとせ年をを
我わがぬすまひし

二八三三番

葦鴨あしがもの すだく池水いけみづ 溢はふるとも 設溝まけみぞの方へに 我われ
越こえめやも

二八三四番

大和やまとの 室生むろふの毛桃けもも 本繁もとしげく 言いひてしものを
成ならずは止やまじ